

2019 年 5 月 15 日

医学教育研究へのご協力のお願い

東京医科大学産科婦人科では、下記の医学教育研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては対象となる学生の皆さんの新たな負担(費用や試験など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように皆さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

「看護学科におけるブレンド型反転授業の学習効果の検討」

[研究の背景と目的]

医療技術の日進月歩の進化に伴い、学生が習得すべき医療情報も加速度的に増えていきます。そのため、従来の講義方法では規定時間数の中で必要な事項を十分に教えることは困難になりました。その対策として、産科婦人科学分野では 2018 年度からブレンド型学習法を導入したところ、定期試験の成績が大きく改善しました。今回、ブレンド型学習導入前後の定期試験成績と講義アンケートの変化を詳細に解析して今後の看護学科講義に活かすとともに、医学科講義への導入を目的として医学教育研究を計画しました。

[研究の方法]

●対象となる方

2015～2017 年度に本学看護学科第2学年で「診断と治療Ⅱ」の講義を受講した方および
2018～2020 年度に本学看護学科第2学年で「診断治療学Ⅳ」を受講した方

●研究期間

倫理審査承認日から 2022 年 12 月 31 日

●利用する情報

看護学科学務課が管理している定期試験成績と講義アンケートを、名前を伏せて集計・解析に利用します。

●検体や情報の管理

使用する情報は、看護学科学務課が研究代表者に情報提供する際に匿名化され、研究者は個人と情報を結びつけることはできません。研究者は、得られた情報を専用のクラウド上で管理し、統計解析する際にクラウドにアクセスして情報を取り出します。クラウド

のアクセス権を持つのは研究代表者のみです。

[研究組織]

- 研究代表者: 東京医科大学産科婦人科学分野 野平知良
- 分担研究者: 東京医科大学医学教育学分野 油川ひとみ

[個人情報の取扱い]

- 看護学科学務課から研究代表者にデータ提供する際に、定期試験点数とアンケートのコメントのみを提供して匿名化します。
- 提供された情報の管理責任者は産科婦人科学分野助教 野平知良とします。
- 提供された情報の解析結果は、東京以下愛学医学会総会で発表し、東京医科大学雑誌への論文投稿により公表します。

[問い合わせ先]

東京医科大学産科婦人科学分野助教
野平知良
03-3342-6111（内線 5869）
E-mail: tnohira@tokyo-med.ac.jp